家保通信

Vol.40　No.4　7月号
東京都家畜保健衛生所
令和8年6月29日

おしらせ

先月号でお知らせした「家畜伝染病予防法の改正」について、施行日が7月1日となりました。詳しくは別添をご覧ください。

暑熱対策を実施しましょう！！

作業者の暑熱対策

夏場の農場作業では、熱中症のリスクが高まります。熱中症を防ぐためには、屋内・屋外を問わず、場所に応じた適切な対策をとることが重要です。以下のポイントを参考に、熱中症予防に取り組みましょう。

屋外では…

- 帽子の着用
- 日陰の利用、こまめな休憩
- こまめな水分補給
- 単独の作業は避ける
  やむを得ず一人で作業する場合は家族などと定期的に連絡を取るなどの対策をとりましょう。

からだの蓄熱を避けるために

- 通気性の良い、吸湿性・速乾性のある衣服の着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオル等で体を冷やす

農作業中の熱中症を予防しましょう
（農林水産省HP）

家畜の暑熱対策

家畜も暑さの影響を大きく受けます。気温の上昇により体温調節が困難になり、飼料摂取量が低下して生産量の減少や死廃事故につながります。

本格的な夏が来る前の今のうちに暑熱対策を実施しましょう。

暑熱対策の一例

①外部からの熱の侵入を遮断する

- 屋根を白ペンキや石灰乳等で塗装する
- よしず、寒冷紗等の設置による遮光
- 屋根への散水による冷却

写真：
石灰乳の屋根への吹き付け
（農林水産省HP）

②畜体の熱を外へ逃がす

- 送風機を使った畜体の冷却
  （送風角度の調整、送風機の清掃など）
- 畜体への散水装置の設置

送風機、換気扇にほこりがたまっていると、風量が低下します。**本格的な暑さが訪れる前に、一度掃除**をしましょう

③暑熱環境下での栄養管理

- 夕方以降の飼料給与
- 飼料設計を考慮した添加剤の利用、ミネラル補給
- きれいな水、冷たい水の給与（給水装置の点検、清掃）

吸血昆虫対策していますか？

サシバエやアブなどの吸血昆虫は牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）やランピースキン病ウイルスなどを媒介するため、対策が必要です。吸血昆虫対策をすることで、病気の感染リスクを低減させるだけではなく、牛のストレス低減、生産性向上にもつながります。今回はサシバエ対策をご紹介します。

防虫ネットの設置

牛舎の周りに設置をすると牛舎内の吸血昆虫が減少し、BLV感染牛と非感染牛の間に設置することで新規感染率の低減が期待できます。サシバエには網目2mm以下のネットが有効です。

写真：農林水産省HP

地面や床から2mは防虫ネットで覆う

除糞・清掃

サシバエは湿った糞便がたまっている場所を好んで産卵をします。そのため、餌や糞便、古い敷料等がたまりやすい壁の隅や溝のこまめな清掃等が効果的です。

IGR製剤の使用

サシバエは春頃から初夏にかけて発生が多くなります。夏には一時的に活動が低下するものの、秋頃には再度活動が活発になります。大量のサシバエが羽化する前に、IGR製剤（昆虫成長制御剤）を定期的に発生源へ散布する等の幼虫対策を徹底的に行いましょう。特にサシバエは全体の80％が卵、幼虫、さなぎの状態であるといわれており、IGR剤の散布によって卵、幼虫を殺虫することが非常に効果的です。

牛舎隅などの牛が踏まない・糞の取り残しがある場所にIGR剤を撒く

その他の対策方法

農業振興事務所が発行している普及インフォメーションで紹介したハッカ油スプレー、東京都農林水産振興財団のYou Tubeで紹介している、青色の粘着シートを用いたサシバエトラップなども活用してみてください。

南多摩農業改良普及センター

牛をサシバエから守るために

～ハッカ油の効果とハエの発生を抑えるポイント～

※R3年　普及インフォメーションより

※東京都農林水産振興財団　You Tubeより

※詳細は農業改良普及センター（ハッカ油スプレー）、東京都農林水産振興財団（ハエトラップ）にご相談ください。

発行日　令和8年6月29日

編集発行　東京都家畜保健衛生所

http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/

〒190-0182　東京都西多摩郡日の出町大字平井2759

TEL：042-588-7171

携帯：090-6941-4315（緊急用）